

希望を抱き明るい未来をともに築こう!

vol.258 1/2²⁰¹⁸月号

Together

今月の付録



むし歯のない きれいな歯列を作りたい

Together Interview 東京都大田区 島田歯科医院 院長 島田 昌也 先生

NEW

歯科のミライ vol.01

「楽しく生きる」から「楽しく生きる」

歯科医師としての誇りを持って、周囲からの感謝の中に生きる
あいファミリー歯科 院長 水野史之

NEW

こんな時、どうする? 歯科受付あるある vol.1
はじめまして!

企画ご案内

- コムネットポイントサービスのご案内
- 新規ツールシェアのご紹介
2018年1月登録





むし歯のないきれいな歯列を作りたい



「信頼・安心・やさしい治療」をめざし、子どもたちにむし歯のないきれいな歯列を作ります！

●本誌インタビューに東京・蒲田の島田歯科医院にご登場願うのは14年ぶりのことです(Together124・2004年8/9月号)。JR蒲田駅から歩いて数分の距離。ビルの最上階の壁にシンボルマークのライオンの顔。向かいの専門学校をはさむ道路に面した大きな窓ガラスの上にもライオンとカラフルな「島田歯科医院」のロゴが並んでいます。●ひと目でターゲットが小児であることがわかります。医院の診療理念は「子どもたちにむし歯のないきれいな歯列を作りたい」。島田昌也院長(54)は、予防、小児矯正を柱に、地域の子どもの大人もお年寄りも、みんなの口腔の健康を守る「ホームデンティスト」として地域に根ざして診療を続けています。●島田歯科医院は1926年・昭和元年に祖父が創業した「蒲田で最初の歯科医院」。島田院長はその三代目として、下町の地域医療に貢献する確かな歩みを刻んでいます。●島田院長と医院の特長は「小児矯正」。父親の朝晴先生が主宰する「歯列育形成研究会」の理事を務めるとともに、症例にあわせてさまざまな方法を駆使して最良の結果をめざす積極的でフレキシブルな治療を得意としています。小児矯正は「究極の予防」。むし歯治療がない診療は理想の歯科医療でもあります。「父は86歳で現役です。私も父を超えて生涯現役で仕事をしたいと思っています」。子どもたちの歯列を育てる仕事は、歯科の未来と可能性を広げる診療なのです。



昭和元年この地に祖父が蒲田で最初の歯科医院を開業した

■プロフィール: ●島田昌也(しまだまさなり)先生:1963年(昭和38年)東京都生まれ。1987年(昭和62年)東京歯科大学卒業。矯正専門クリニックで2年間研修。1990年(平成2年)東京・西蒲田の現在地(1926年・昭和元年に祖父が開業した歯科医院の場所)に開業。父の島田朝晴氏は、「歯列育形成研究会」を主宰し、1978年東京・青山に「ジャーミイデント歯科」を開業。

■所属学会・研究会等:日本歯科医師会・日本学校歯科医会・日本矯正歯科学会・日本

小児歯科学会・日本ヘルスケア歯科研究会・歯列育形成研究会理事・大田区立相生小学校校医・大田区立特別養護老人ホームたがわ摂食指導医(月2回訪問摂食指導を実施)

■医院DATA: ●診療科目:小児歯科・矯正歯科・歯科 ●診療体制:ユニット4台・歯科医師2(常勤1・非常勤1)・歯科衛生士4・歯科助手1・受付1 ●患者数:1日約60人

●診療時間:平日午前10:00-12:30・午後14:00-19:00/土曜午前9:30-13:00・午後14:00-17:00 ●休診日:水曜・日曜・祝日



全面ガラス張りのエントランス。明るく開放的な受付と待合室が迎えてくれる



● 「治療から予防へ」への模索

—— 島田歯科医院を開業されて今年で28年、ちょうど中間地点の2004年にお邪魔しました。

島田 あっという間ですね。あの頃と変わっているところはいろいろありますが、当時目標としていた予防中心の「治療しない歯科医院」に向かい続けていると思っています。

地域医療ですから、子どもさんからお年寄りまでさまざまな患者さまがいらっしゃいますので、治療や抜歯なども行いますが、現在は治療の多くを口腔外科の勤務医の先生に任せて、私は主に小児矯正の診療を行っています。

開業当初は「完璧な治療」で高額な自費治療を行う歯科医院をめざしました。しかし、いかに完璧に治療しても、その後の時間の経過とともに問題が生じ、メンテナンスをやらなければ確実にダメになってゆく。その現実直面して「治療」の限界を感じたのです。時代は「予防・管理」の時代を迎えました。歯科医療の方向を模索していた私もその方向に舵をきりました。

小児矯正を始めたきっかけは、父の時代から「床矯正」を中心とした診療を行っており、私も子ども

の頃に父にプレートを使った「歯列育形成」によって歯列を整えてもらったことにあります。父は1992年に「歯列育形成研究会」を立ち上げ、私も理事を務めています。

● 「小児矯正」へのチャレンジ

——現在の小児矯正の診療では、さまざまな治療法を組み合わせていると伺いました。

島田 そのとおりです。「歯列育形成」のプレート矯正をはじめ、ブラケット、マウスピース、MFTなど、小児矯正にはさまざまな治療法があります。患者さま、お子さんの歯列や口腔内の状況は、前突、叢生、過蓋咬合、開咬、その複合などなど千差万別ですから、個々の症例にあわせて有効と思われる治療法を組み合わせが一番良い結果ができるよう工夫しています。

基本的な考え方としては、永久歯になって歯列、咬み合せのトラブルが起こってから矯正するのではなく、乳歯の時期から将来の成長発達を予想して美しく、そして正しく機能する永久歯列に成長させてゆく、育ててゆくという「育形成」をベースに診療しています。

人間の歯列は、6ヵ月頃から歯が生え始めて3歳頃に20本の乳歯列が完成し、12歳頃に28本の永久歯列が完成



2年前のリニューアルでユニットをすべてSironaに。壁に広がる満開の桜がきれいだ



歯磨きコーナーは高低2段構え。ハブラシ、歯磨剤、マウスウォッシュも完備している

島田歯科医院の金看板は「小児矯正」。子どもたちは怖がらず自分からチェアに座って診療を受けている。ユニットごとにモニターで自由にアニメが見られるシステムが強力な助っ人である



しますから、長い子になると約10年のお付き合いになります。その間、月2回、調整とクリーニングに通ってもらうことになるわけですから、根気と忍耐、努力が必要になります。私たちは、お子さんたちが楽しく、喜んで通院してくれる医院作りに努力しています。

●「歯育て」は「子育て」につながる

——島田歯科医院に通院してくる子どもさんが、すすんでチェアに座る様子がすばらしいですね。

島田 ありがとうございます。みんな歯科医院に来る目標をきちんと持っているからではないかと思えます。小児歯科というと、ワクワクたのしい雰囲気、歯医者さんが多いですね。「行きたくない歯科医院」にするために、怖くない、楽しいところにする努力はとても大切なことです。と同時に、私はさらに、医療機関としての「歯医者さんに行こう」と思ってもらえる医院づくりが必要なのではないかと思いました。

「歯医者さんに行ってキレイになる」「むし歯のない健康な口にする!」「将来すばらしい歯並びになる!」という歯科医院本来の目的を自覚して通院する、長い期間装置やプレートを入れて努力することは、その子にとってとても大事な力になる、成長の糧になるのではな

いかと考えています。「歯育て」は「子育て」に通じるのです。いい歯並びになり機能が向上すれば、その子の能力を伸ばす可能性にもつながると思います。「かっこいい歯並びになる」という目標は、例えば将来ハリウッドデビューして世界で活躍するスターになるという目標を実現するかもしれない。そんな子が誕生することも夢ではない。将来が本当に楽しみです。「小児矯正は子どもたちの未来をつくる仕事」と言えると思います。

●「生涯現役」で父を超えたい!

——島田先生と島田歯科医院の今後の抱負をお聞かせください。

島田 私は、小児矯正は歯科医療本来のあり方を示しているのではないかと考えています。お話ししたように、削って詰める「治療」には限界があります。高齢になってのタービンやエンドの治療は無理がある。目も腕も集中力も限界です。ところが、矯正の場合は子どもの頃からむし歯ゼロで定期管理を続けていけば生涯口腔の健康を守れるのです。治療より予防のほうがはるかに簡単です。86歳で現役バリバリの父のように歯科医師として最高の人生を送ることができる。生涯現役を貫いて「父を超える」それが私の歯科医師とし



医院の滅菌システムは完璧。DACユニバーサルがフル稼働していた



予約表は2ヵ月先までびっしり埋まっている



時間をとってじっくり話を聞く。スタッフの言葉もやわらかい



ユニットごとに準備されている口腔ケアグッズの見本。ご褒美のキャンデーも種類豊富だ



での目標です。島田歯科医院も、地域に根ざしてこれからもずっと診療を続けていけるよう、この4月に医療法人に衣替えします。

コムネットとは開業と同時に契約して以来30年近いお付き合いになり、島田歯科医院の歴史と重なっています。歯科におけるIC（インフォームド・コンセント）の草分けとして、患者さまへの情報提供と信頼関係の構築にとってとても大切なサービスを提供していただいています。創立30周年を迎えられて、がんばる歯科医院を応援してこられたことに敬意を表します。これからもともにがんばっていきましょう。

—ありがとうございました。「生涯現役」の島田先生とともに私たちががんばります。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。



ポスター類は情報過多にならないよう、目的をしばって掲示されている

島田歯科医院 ホームページ
<http://www.shimada-dental.com>

取材後記

●今回の取材には、Togetherを編集している制作部チームでカメラマンの竹内と、昨年3月に入社した新人デザイナーの清水が同行しました。とくに清水は歯科医院を見学するのが初めてで、とても新鮮な感想をレポートしてくれました。●ポイントを箇条書きでご紹介いたします。

- ・院内全体がきれいで、装飾もかわいらしく、病院への怖さや緊張が和らぐ雰囲気。
 - ・診療を受けにきている子どもたち、どの子も騒ぐことなく静かに受けており驚いた。
 - ・「何か特別なことをしなくても痛くない、怖くないとわかればユニットに置いてあるタブレットでアニメを見ながら静かに治療を受けてますよ」と難しいはずのことを簡単そうに当たり前のように先生はおっしゃっていた。
 - ・子どもの診療はほとんどが矯正治療で悪いところを直す治療ではなく「きれいな歯並びを育てるため」とのこと。私はコムネットに入るまで「予防のために通う」という発想がなかったため、後追いではなく先手先手を打つことが当たり前になっている医院や患者さんたちがとても羨ましく感じた。
 - ・ハンドピースなどの滅菌器が常に作動していたり、真空パックが常備され、清潔さが徹底され、安心できる歯科医院と感じた。
 - ・張り紙は控えめではあるが、レントゲン機や手渡し資料としてコムネットのツールが使われており嬉しかった。
- 今後もっと有効活用していただける見やすく良いものを作れるよう、より一層精進したいと思う。

●島田先生には、30年のお付き合いのなかで、コムネット社員の現地研修（1日見習い歯科助手体験）やコムネット本社でのセミナー、Togetherの座談会、「でんたるらんど」への連載など、多くのご支援、ご協力をいただいております。この場を借りてあらためて感謝申し上げます。



菊